

## 大学院生と博士課程終了者を対象にしたインターリッジ特別研究員奨学金制度プログラム

私供はこの院生と博士号所得者を対象にしたインターリッジ特別研究員制度への提案書を募集しています。支給額は各々米**5000**ドル額までです。特別研究員は大学院生や博士課程修了研究者による海嶺頂上科学のあらゆる面で国際協力を促すと思われます。また国際的な次元、つまり数ヶ国との長期的パートナーシップの促進に役立つと思われます。特別研究員制度は海嶺頂上科学のあらゆる分野に使用できます。

例えば

- 。 国際的なクルーズへの参加
- 。 国際的な実験室の使用

インターリッジが支給する特別研究員制度はいずれの国にかかわらず大学院生や博士課程修了者に門戸が開かれています。

国際海底機関の財団基金(<http://www.isa.org.um/en/efund/>)が支給する特別研究員制度は下記のいずれの大学院生や博士課程修了者のためにあります。

- 。 発展途上国出身者、あるいは
- 。 発展途上国出身の研究者の訓練を支援している者たち

国際海底機関とインターリッジが提携する特別研究員制度についての詳しい情報は次のウェブサイトに掲載してあります。 <http://www.interridge.org/isapartnership>.

### 提案募集

#### 2012年

これまでのインターリッジ特別研究員

2010年 かわぐちしんすけ、ベイビーディヴァ、アコムボム ヴィシチ

2009年 スーザン・ラング、スーヤ・プラカッシュ

2008年 ミッシェル・ハリス、ケリー・ハワード

またアイルランド出身の特別研究員は年刊のインターリッジのニュースに掲載されています。 (<http://www.interridge.org/IRNewsletter>).

---

国際海底機関とのパートナーシップによる大学院生と博士課程修了者を対象にした特別研究員制度

インターリッジは**2009**年から**2011**年国際海底機関の財団基金とパートナーシップを結ぶ

私供は院生と博士課程修了者を対象にしたインターリッジの特別研究員制度のために国際海底機関(**ISA**)財団基金と結んだ新たなパートナーシップを発表できることを

非常に喜ばしく思います。ISA財団基金は共同海洋科学研究のための新しいプログラムで詳細と小冊子は次のウェブサイトでご覧になれます。<http://www.isa.org.um/en/efund/>。ISA財団基金の使命というのは以下のとおりです。

。発展途上国出身で資格のある研究者と技術者の海洋研究活動への参加を支援する。こういった人たちによる共同研究の機会を設ける。

ISA財団基金は毎年2009年から2011年インターリッジの院生と博士課程修了者特別研究員2名に資金の支給しています。各自5000米ドル、私供の助成金は合計米30、000ドルにのぼります。このことはインターリッジの活動を強化し、国際協力を促進するための外部助成金を得るという私供の長期目標が十二分に進展していることを反映しています。

世界の海洋が地球上の全員の生活に関連していることを認識しているので、インターリッジは次の10年計画にキャパシテイ構築、若しくは、あまり工業化されていない諸国または非沿岸諸国との連絡を強化することも考えています。次の世代の海嶺頂上研究者のために、インターリッジは発展途上国出身者がリサーチ・クルーズに参加し、海嶺頂上研究の実験技術の研修を受けることができるようにしたいと望んでいます。国際海底機関のウェブサイトから引用されているように、「多くの場合、深海底で海洋の科学研究を実施するために懸かる費用額が発展途上国の研究者や他の技術者の関与を難しくしています。科学の最先端に君臨する分野であるにもかかわらず、技術と専門知識が欠如しているため、深海探究の取り組みに関わる発展途上国出身の研究者があまり見られなかったのかもしれませんが。グローバルなリソースとして国際海底区域の科学研究は可能な限り、発展途上国と先進国双方から、科学者と研究者を受け入れなければなりません。」

2009年から2011年の間私供は毎年一研究者につき米5000ドルの特別研究員制度を数多く提供してきました。インターリッジが供給している特別研究員制度はいつれの国に係わらず卒業生または博士課程修了者に門戸を開いています。

国際海底機関財団基金(注:<http://www.isa.org.jm/en/efund/>)が供給している特別研究員制度は大学院生や博士課程修了者のためにものですが下記のいずれかの制限があります。

- 。 発展途上国、あるいは
- 。 発展途上国出身の研究者の訓練を支援している者たち

全ての提案書類はインターリッジから厳密な科学評価を平等に受けます。ISAが供給する特別研究員制度への志願者はそのような資金を受けることが途上国出身の科学者に有益なことであることを記述するよう求められます。出願書類の順位付けの方法にはその科学研究の質と期待される意義、またその学生の経験の広さ等が含まれます。私供の年刊誌には特別なセクションを設けてあり、2年間の助成期間中の特別研究員の進歩状況と賞金を受け取ったあとの4年間にその特別研究員制度が仕事歴にどれだけ重要な援助となったかという報告を掲載します。特別研究員への募集は毎年1月にインターリッジのウェブサイトでご覧され、提案書は毎年3月31日に締め切りとなります。

-----  
提案募集: インターリッジの大学院生と博士課程修了者を対象とした特別研究員奨学金制度のプログラム2012

<http://www.interridge.org/fellowship>

すべての出願資料はインターリッジのコーディネーターに2012年3月31日までに電子メールで提出されなければなりません。(coordinator@interridge.org)

インターリッジのオフィスは一個人につき米5000ドルまで支給するインターリッジの院生と博士課程修了者特別研究員制度の提案書を募集しています。

私共は2012年インターリッジ資金による特別研究員制度を数多く提供する予定で、国を問わず、大学院生や博士課程修了者にこの門戸を開いています。国際海底機関(ISA)財団基金によって支給されている特別研究員制度は途上国出身の院生や博士課程修了者あるいは途上国出身者のトレーニングを助成する研究者に限ります。

詳細については次のとおりです:

インターリッジ特別研究員制度については<http://www.interridge.org/fellowship>を参照してください。

インターリッジと国際海底機関の共同特別研究員制度については<http://www.interridge.org/isapartnership>を参照してください。

過去のインターリッジの特別研究員についてお読みください。

2008年  
2009年  
2010年  
2011年

必要となる出願資料(このページの終りに必要な用紙がすべて掲載されています): (用紙は数カ国語で用意されていますが、英語で記入されなければなりません)。

出願に要する書類:インターリッジ特別研究員制度出願書には次のことが含まれます。

- 一出願概要
- 一提案書
- 一履歴書(別の添付ファイルとして提出する)
- 一予算と資金要請の説明
- 一志願者の顧問と提案するホスト側支援者の推薦状

志願者がISA財団基金に検討されたいと希望する場合、更に次の用紙にも記入する必要があります。

- 一ISA財団基金出願書
- 一途上国職員への追加履歴書(該当する場合)

奨学金額と期間

各自受け入れが認められた志願者への支給額はプロジェクトのニーズに基づいて決定され、一奨学金あたり米**5000**ドルまでです。その奨学金は授与された日付から**2**年以内に使われなくてはなりません。

### 提案書と出願書の審査

研究提案は題目に関連した審査官二人一 英語を母国語とする審査官と非英語圏の審査官によって科学的価値に対する再審査を受けます。受信した出願書の数によりますが、インターリッジ運営委員会のメンバーが出願書全部、あるいは一部分(提案書審査を含む)を審査します。そのあとすべての出願書はいくつかの要因(下記を含む)に基づいて、全部一緒に順位づけられます。

- 。 特別研究員制度に価値を置く作業の質と期待される意義
- 。 志願者が奨学金がなければ経験できそうにない機会を提供するという事実

インターリッジが支給する特別研究員制度についてはインターリッジ運営委員会が最終選考を行いません。ISA財団基金の特別研究員制度についてはインターリッジ運営委員会が出願書の中の最高順位者を提供し、ISA財団基金顧問委員会が最終選考をします。毎年**6**月に受入れの決まった特別研究員が発表されます。

### 受賞報告の必要条件

- 。 インターリッジの特別研究員は私供のウェブサイト (<http://www.interridge.org/fellowship>)と年刊インターリッジ・ニュース (<http://www.interridge.org/IRNewsletter>)に特集されます。
- 。 特別研究員は中間進捗状況報告と特別研究員制度完了の際、最終報告を提出するよう要請されます。
- 。 さらにISA財団基金から支給されている特別研究員制度は志願者の顧問からの最終報告を要請します。
- 。 受賞後**4**年間インターリッジは特別研究員制度の長期効果の評価規定するため受賞者からの感想を要請します。

### コーディネーターに送る出願書の概要

インターリッジの学生と博士課程修了者を対象にした特別研究員制度

- 。 インターリッジ奨学金出願書(Word文書)/(PDF版)

- 。 履歴書

ISA財団基金特別研究員制度への志願者

- 。 インターリッジ特別研究員制度出願書(Word文書)/(PDF版)

- 。 履歴書

- 。 [ISA\\_Endowment\\_Fund\\_Application\\_Form.doc](#)

- 。 追加の履歴書(該当する場合)

---